

全国シルクのまち情報誌

# 知・る・く

平成30年3月

No.9



特別企画展「村山大島紬の世界」の様子（東京都武蔵村山市）

## シルクのまちづくり市区町村協議会

情報誌の名称の『知・る・く』は、「シルク」の事を「知る」、「シルク」の街を「歩く」という意味が込められており、3つのフレーズを融合させた造語です。

「知」の「0」部分は絹糸をイメージ。同時にシルクの無限大（∞）の可能性も表現しています。

「く」の下部には靴をあしらひ、街を歩くイメージと協議会の前進の意味を込めました。

# No.9>>>Contents

---

## ●“新加入”会員自治体の紹介

---

- (1) 福井県勝山市 ..... 2

## ●“産地ブランドマーク”の紹介

---

- (1) 富岡シルクブランドマーク（群馬県富岡市） ..... 3

## ●会員自治体の情報(シルクに関わるイベントや取り組みなど)

---

- (1) 栃木県小山市 ..... 4
- (2) 群馬県前橋市 ..... 6
- (3) 東京都武蔵村山市 ..... 7

## 《参考資料》

---

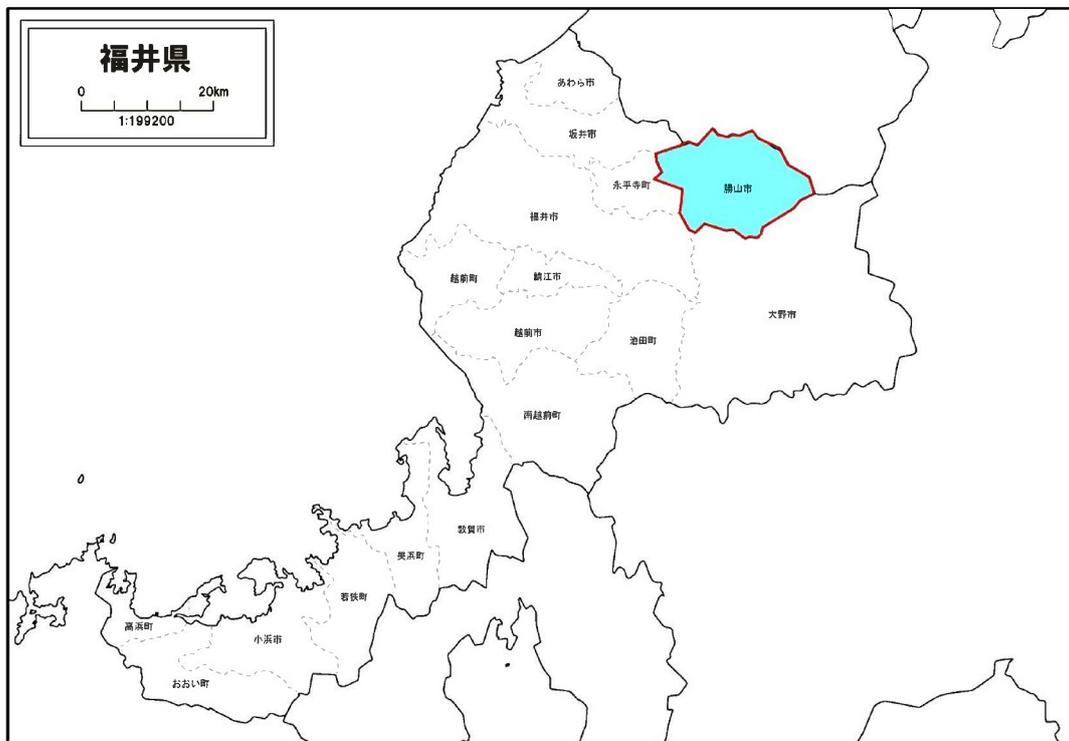
- シルクのまちづくり市区町村協議会・構成員一覧 ..... 9
- シルクのまちづくり市区町村協議会の設立趣意書 ..... 11

## “新加入” 会員自治体の紹介

シルクのまちづくり市区町村協議会では、さらなるシルク産業の発展に寄与するため、シルクに関する産業・歴史を有する全国の市区町村の皆様にご参画をお願い申し上げ、より全国規模の取り組みにしていきたいと考えています。

このたび、平成29年度から、新たにご参画いただきました「福井県勝山市」のシルク事情などについて、ご紹介します。

### ①福井県勝山市





# 福井県勝山市

住所 勝山市元町 1-1-1  
〒911-8501 ☎0779-88-1111  
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

## 概要

(1) 面積 253.68 km<sup>2</sup>

(2) 人口

17 国調	22 国調	27 国調
26,961	25,466	24,125
65 歳以上人口比率 (27 国調)		33.9%

(3) 世帯数

17 国調	22 国調	27 国調
7,990	7,773	7,703

(4) 沿革

昭和 29 年 (1954 年) 9 月 1 日、町村合併法により、勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村及び遅羽村の 1 町 8 箇村が合併し市制を施行

## シルク事情

勝山市を含む福井県（とくに嶺北地方）は、明治～大正時代を中心に、輸出向絹織物羽二重の一大産地でした。

羽二重は、たて糸を 2 本（二重）にして織る、平織の絹織物のことです。明治時代に入って外国との貿易が盛んになると、1880 年代から織り幅の広い（幅 60～90 cm）輸出向羽二重が、桐生（現在の群馬県桐生市）や足利地方で織られるようになります。

福井県でも、1887 年（明治 20 年）に桐生から技術者を招いて織り方を学び、輸出向の羽二重が織られるようになり、1892 年には日本一の輸出向羽二重の産地へと発展していきました。

その後、景気の変動などを理由に、大正から昭和初期にかけて、人絹（人造絹糸・レーヨン）を使った織物、戦後の高度成長期には合成繊維・化学繊維を使った織物へと転換し、織物の一大産地を形成しました。

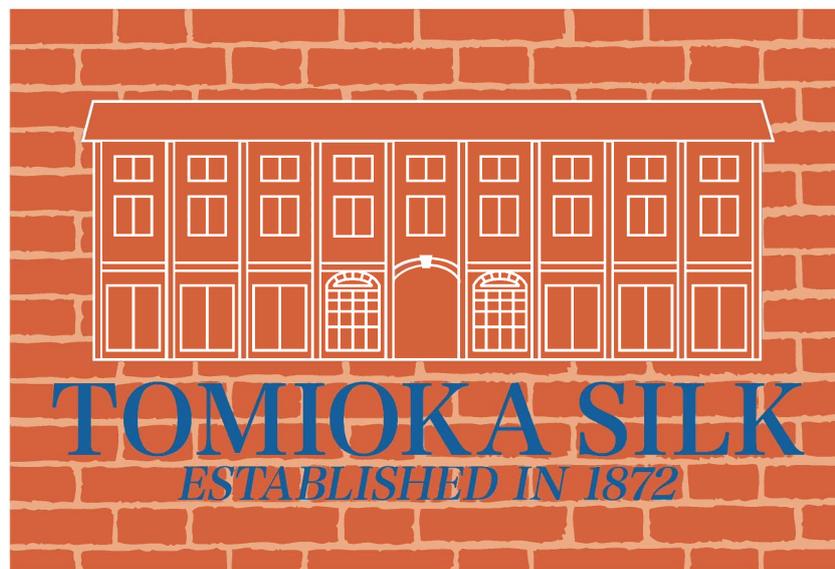
勝山市は、福井地域における織物産地のひとつとしての歴史があり、また現在も基幹産業として最先端の技術を活かしながら織物の生産を続けています。なお、羽二重を中心とした絹織物を現在も生産している機業は、ほぼ 1 件のみとなっています。

また、明治 37 年に建てられた織物工場を保存・活用し、織物や地域の産業の歴史が分かる博物館として運営されているのが「はたや記念館ゆめおれ勝山」です。ゆめおれ勝山は、絹織物「羽二重」の歴史と織物の世界を体感できる「生きた」文化財です。歴史ギャラリーと収蔵展示コーナーでは「機屋」の建物を活かした臨場感あふれる展示を、体験コーナーでは、実際に織物の世界を楽しむことができます（勝山市指定文化財・経済産業省認定近代化産業遺産）。



▲羽二重（株式会社  
東野東吉織物製造）

## 富岡シルクブランドマーク（群馬県富岡市）



■ブランドマーク名

富岡シルクマーク

■ブランドマークの説明

富岡産繭を100%使用し、国内で製造された純国産製品であることを表します。富岡製糸場の象徴であるレンガの色をイメージしています。



■ブランドマーク名

富岡シルクプラチナマーク

■ブランドマークの説明

富岡産繭を100%使用し、富岡シルクブランド認証委員会において、デザイン性や創意性等の観点からみて、特に優れたものとして認証された製品であることを証明します。色は、富岡製糸場とフランスの歴史的な繋がりを表現した“リヨンブルー”です。

## 本場結城紬の技術を未来へ — 小山市職員 紬織士 の挑戦 —

栃木県小山市の誇る伝統産業「本場結城紬」は、糸作りから機織りに至るまでの全工程を今もなお産地職人の手作業によって生産されている伝統的絹織物です。その高度な伝統技術は世界にも認められ、平成22年にはユネスコ無形文化遺産に登録となりましたが、一方で、生産者の高齢化と後継者不足から、このままでは日本最古の織物の伝統技術が途絶えてしまうことが懸念されています。



結城紬の代表的な伝統技法、左上から①「糸つむぎ」・②「緋くくり」・③「地機織り（じばたおり）」の3つの工程は、国の重要無形文化財に指定されています。

他の織物産地が機械化を選択する中、結城紬の職人は「ヒトの手で作る」とにこだわり、日々、もの作りを通して自分と戦い続けています。

結城紬がユネスコに登録されたことを契機に、本場結城紬振興策として着物着用推進イベント「小山きもの日」の開催や結城紬購入費等助成制度の制定、着心地体験事業の実施や結城紬のPRを目的とした施設の設置等に取り組む中で、本場結城紬の伝統技術を実に後世へと継承するため、小山市では平成26年に「紬織士」という職種を新たに設け、結城紬の伝統を絶やさないための取り組みを進めてまいりました。

紬織士とは、本場結城紬に関する製作工程の全てを習得し、伝統の技を未来へ繋げることが使命であることから、結城紬を生産している産地職人の元で技術習得の研修に取り組み、これまでに7反の結城紬を作り上げました。

結城紬は、各工程を職人が分業で担当することで一反の紬が作られます。そのひとつでも製作工程が抜け落ちてしまえば、結城紬を作り上げることはできません。紬織士は、産地の職人が分業で取り組んでいた生産の全てを担い、一反の結城紬を作るのです。



左写真：産地職人の元で技術習得研修に取り組む紬織士。織元の代表に見守られながら地機織りをする。

右写真：結城紬の産地特有の染め方「たたき染」をする紬織士。

平成26年から開始した紬織士の研修も4年目を迎え、昨年10月には、初めて紬織士が自ら図案を作成し、糸つむぎを除く緋くりから地機織りまでの全工程を手掛けた結城紬(下写真)が完成しました。また、現在、4年間の第一期研修の集大成となる「100亀甲総柄」の結城紬の製織に取り組んでおり、10月に完成した紬と同様に糸つむぎを除く全行程を手掛けた製品となります。

産地の職人が今もなお守り続ける伝統を未来へ繋ぐため、最初の一步を踏み出した小山市。

本場結城紬の消滅の防波堤となるべく、紬織士の挑戦はこれからも続きます。



## 前橋学ブックレットの発行（群馬県前橋市）

前橋市では、2015年（平成27）から、前橋の誇れる先人、すばらしい自然、埋もれた歴史のすべてを後世に語り継ぎ、市民は前橋に誇りと愛着（郷土愛の原動力）を、全国には前橋の魅力を発信（訪れてみたい、住んでみたい前橋）する目的で、前橋学ブックレットを発行しています。

執筆者は、研究者や専門家だけでなく、市民自らが調査・発掘した成果を発信する場とし、ブックレットの編纂が、前橋市の発展を図ろうとする文化運動となり、地域づくりとブックレットの編纂が両輪となって、魅力ある前橋の創造を目指しています。

年間4冊発行。企画は前橋学ブックレット編集委員会、発行は上毛新聞社事業局出版部で、販売は県内書店、上毛新聞社事業局出版部。アマゾンでも購入（全国）できるようになっています。定価は1冊600円＋税です。

2017年（平成29年）も4冊が刊行となりました。次の2冊がシルク関係のものです。

前橋学センター編『シルクサミット in 前橋—前橋・山鹿・宇都宮・豊橋—（12号）  
田中修『老農・船津伝次平の養蚕法』（13号）

『シルクサミット in 前橋—前橋・山鹿・熊本・宇都宮・豊橋—』は、「生糸のまち前橋発信事業」の一環として、2016年8月27・28日に開催された「シルクサミット in 前橋」の内容を活字化したもの。藩営前橋製糸所の歴史的意義や熊本に養蚕製糸技術を伝えた藩営前橋製糸所の製糸婦・大野浪と豊橋に玉糸製糸技術を伝えた小淵しちに光をあてました。

『老農・船津伝次平の養蚕法』は、「日本三老農の最高峰」といわれた船津の養蚕経営、飼育技術、栽桑論などを解説。前橋周辺の明治期養蚕事情や養蚕経営、技術水準を知る貴重な手がかりとなるものです。

前橋学ブックレットは、これまでに13号が刊行になりましたが、既刊の次の号もシルク関係のものです。併せて紹介します。

1号 日本製糸業の先覚速水堅曹を語る（2015年3月）

石井寛治／速水美智子／内海孝／手島仁

8号 速水堅曹と前橋製糸所—その「たくらくんき卓犖不羈」の生き方—（2016年8月）

速水美智子

9号 玉糸製糸の祖 小淵しち（2016年8月）

古屋祥子

問い合わせ先（担当）

前橋市文化スポーツ観光部前橋学センター 027-898-6994

前橋市文化スポーツ観光部文化国際課文化振興係 027-898-6992

## 特別企画展「村山大島紬の世界」、むらやま魅力発見！2018冬の開催

### 【特別企画展 村山大島紬の世界】

「村山大島紬」は、経済産業大臣指定伝統的工芸品の東京都第一号に指定を受けるなど技術的にも歴史的にもその価値を認められてきた、武蔵村山市が誇る優れた工芸品です。展示期間中、会場ではさまざまなイベントが行われました。

期間：2018年2月2日（金）～4日（日）

時間・内容：

2日 13:00～17:00

「フルーツによるミニコンサート」

3日 10:00～17:00

講演会「村山大島紬の魅力、再発見！」

4日 10:00～15:00

「オリジナルコースターを作ろう」

全日 上記の時間

「しおり作り体験」

会場：武蔵村山市市民会館展示室（入場無料）

主催：武蔵村山市市民会館（指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス）、  
村山織物協同組合



### 【むらやま魅力発見！2018冬】

さくらホール（武蔵村山市市民会館）で開催された「特別企画展 村山大島紬の世界」で展示されたものをより多くの方に見ていただくために貴重な資料の一部や工程パネル等を展示しました。

伝統工芸品、村山大島紬に触れよう



初めてとなる 村山大島紬の  
パネル展を開催します。

さくらホール（武蔵村山市市民会館）で  
平成30年2月2日（金）～4日（日）まで開催される  
「特別企画展 村山大島紬の世界」にて展示された  
貴重な資料の一部や村山大島紬ができるまでの  
工程のパネル等を展示します。



日時：平成30年  
2月5日（月）～9日（金）

5日 午後1時～5時15分

9日 午前8時30分～正午

他 午前8時30分～午後5時15分

場所：武蔵村山市役所1階北側ロビー

主催・問合せ 武蔵村山市 協働推進部

産業振興課 ☎042-565-1111 内線227

共催 村山織物協同組合

期間：2018年2月5日（月）～9日（金）

会場：武蔵村山市役所1階北側ロビー

主催：武蔵村山市協働推進部産業振興課

共催：村山織物協同組合

問い合わせ：

〒208-8501

東京都武蔵村山市本町1-1-1

武蔵村山市協働推進部産業振興課商工グループ

電話：042-565-1111 内線227

特別企画展  
経済産業大臣指定伝統的工芸品  
東京都指定無形文化財

# 村山大島紬

## の世界

「村山大島紬」は、経済産業大臣指定伝統的工芸品の東京都第一号に指定を受けるなど技術的にも歴史的にもその価値を認められてきた、武蔵村山市が誇る優れた工芸品です。

貴重な関連資料や、歴代の反物の美しさを堪能できる展覧会で、今に生きる工芸の魅力をお楽しみください。

2018年  
**2月2日(金)~4日(日)**

**時間**  
2日 13:00~17:00  
3日 10:00~17:00  
4日 10:00~15:00

**会場** 武蔵村山市民会館  
展示室  
**入場無料**

**[関連イベント]**  
展示期間中、会場ではさまざまなイベントが展覧会を彩ります！

**2日(金)** フルートによるミニコンサート  
時間：1回目13:30~  
2回目16:00~  
演奏：フルート 日野真奈美  
ピアノ伴奏 齋藤亜都沙

申込み不要

**3日(土)** 講演会  
「村山大島紬の魅力、再発見！」  
時間：14:00~ (1時間程度)  
講師：田代隆久 関東伝統工芸士会会長・  
村山大島紬伝統工芸士会会長

申込み不要

**4日(日)** 機織り体験ワークショップ  
オリジナルコースターを作ろう！  
時間：10:00~15:00  
※1人あたり約20分  
講師：村山織物協同組合

受付開始  
1/13(土) 10:00~

**期間中いつでも** しおり作り体験  
展示期間中いつでも体験いただけます。  
申込み不要 ※材料がなくなり次第終了となります。

**お問合せ** 武蔵村山市民会館 (さくらホール) ☎ 042-565-0226 〒208-0004 東京都武蔵村山市本町1-17-1  
受付時間：9:00~22:00 (休館日：毎月第1月曜日・年末年始)

【主催】武蔵村山市民会館 (指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス)・村山織物協同組合 【共催】武蔵村山市教育委員会 【後援】武蔵村山市

## シルクのまちづくり市区町村協議会・構成団体等一覧

(平成30年2月21日現在)

### ■会員（32団体）

1	山形県鶴岡市	12	新潟県十日町市	23	滋賀県長浜市
2	山形県長井市	13	新潟県小千谷市	24	京都府京都市
3	山形県白鷹町	14	新潟県南魚沼市	25	京都府宮津市
4	福島県川俣町	15	石川県金沢市	26	京都府京丹後市
5	茨城県結城市	16	石川県小松市	27	京都府与謝野町
6	栃木県足利市	17	福井県勝山市	28	愛媛県西予市
7	栃木県小山市	18	山梨県富士吉田市	29	鹿児島県鹿児島市
8	群馬県富岡市	19	山梨県西桂町	30	鹿児島県奄美市
9	群馬県前橋市	20	長野県岡谷市	31	鹿児島県龍郷町
10	東京都新宿区	21	長野県駒ヶ根市	32	沖縄県久米島町
11	東京都武蔵村山市	22	長野県安曇野市		

### ◇役員

会 長 群馬県富岡市（市長 岩井賢太郎）  
副会長 山形県鶴岡市、長野県岡谷市、愛媛県西予市  
監 事 茨城県結城市、京都府京丹後市

### ■特別会員[オブザーバー]

農林水産省、経済産業省関係部署担当課長

### ■事務局サポート

NPO法人日本染織文化振興会

### ■顧問（11名）

#### ◎ファッションジャーナリスト

清水 早苗氏 ジャーナリスト／クリエイティブ・ディレクター

#### ◎クリエイションコーディネーター

松田 正夫氏 繊維・未来塾 塾長／（株）大阪繊維リソースセンター特任顧問

岡田 茂樹氏 鶴岡 kibiso プロデューサー／元東京ファッションデザイナー協会議長

#### ◎テキスタイルデザイナー

須藤 玲子氏 株式会社布取締役

酒井 美和子氏 （有）GBカンパニー代表取締役

福井 健二氏 K.FUKUI PERSONAL OFFICE&EA 主宰

永森 達昌氏 オフィス・ナガモリ代表

#### ◎和装

早坂 伊織氏 着物伝承家

笹島 寿美氏 着装コーディネーター・帯研究家

#### ◎研究機関

玉田 靖氏 信州大学 繊維学部 教授

長島 孝行氏 東京農業大学 農学部農学科 教授（農学博士）

藤井 浩司氏 早稲田大学 政治経済学術院政治経済学部／政治学研究科 教授

阿部 栄子氏 大妻女子大学 家政学部被服学科 学科長／教授（学術博士）

■協賛者等（24団体）

◎蚕糸団体

（一財）大日本蚕糸会、中央蚕糸協会、碓氷製糸株式会社、蚕糸・絹業提携グループ  
全国連絡協議会

◎産地織物組合

鶴岡織物工業協同組合、福島県絹人織織物構造改善工業組合、小千谷織物同業協同組合、  
山梨県絹人織織物工業組合、滋賀県絹人織織物工業組合、丹後織物工業組合、本場大島  
紬織物協同組合、本場奄美大島紬協同組合

◎絹業団体

全国染色協同組合連合会、全国染織連合会、京友禅協同組合連合会、京都工芸染匠協同組  
合、日本織物中央卸商業組合連合会、（一社）全日本きもの振興会、（公社）全日本きもの  
コンサルタント協会、（一財）シルクセンター国際貿易観光会館（シルク博物館）、東京  
ネクタイ協同組合、日本繊維輸入組合、新宿区染色協議会

◎その他団体

GS 世代研究会

## シルクのまちづくり市区町村協議会の設立趣旨

古来よりわが国に伝わる尊い宝、絹。

絹を用いる産業、すなわちシルク産業は、地域経済の中で重要な役割を果たし、地域の生活や風土に根付いた産業として我々の地域とともに発展してきました。同時に、悠久の歴史の中でこれら産業が培った技術により生み出される製品は、地域文化を育むと同時に、わが国文化の根幹に大きく関わり、地域の価値や日本の品格を伝えるものとして、産業・文化の両面で貢献しています。

ところが、社会・生活環境が急激に変化する中で、現在では資源の枯渇化や人材の不足、市場の縮小による需要減少など、地域のシルク産業の発展に支障が生じているとともに、近代化・平準化の中でわが国固有の誇りある文化の風化が危惧されているところ です。

一般的に、シルク製品は、養蚕、製糸、織物、染色など多段階の工程の中で、それぞれに長年にわたって極められた究極の技術が、完璧なまでに調和され完成されます。またそのものづくりは、技術者同士の厚い信頼と連携の上に成り立ち、日本が誇るものづくりの原点ともなっています。さらに、世界においてもシルクは、かつてシルクロードという長大な交易ルートを創造し、産業を活性化するとともに東西文化の交流を育んでいます。すなわちシルクは、単なる繊維素材ではなく、歴史的にも経済社会の様々な断面を相互に発展に導く共通のきずなであり、今後においてもシルクを通じた「連携」「国際展開」「産業活性化」「文化交流」などによって、様々な分野の未来に多くの示唆と可能性を与えてくれるものであると確信します。

こうしたシルクの持つ意味を改めて認識し、シルクに関連する産業、またはシルクに関係する歴史・文化を持つ市区町村が連携し、「シルク産業の活性化」や「シルク文化を活用した魅力ある地域づくり」など、シルクの意味を活用して新たな展望を切り開くため、「シルクのまちづくり市区町村協議会」を設立します。

平成22年1月26日



特別企画展「村山大島紬の世界」講演会の様子（東京都武蔵村山市）



「ヨコハマ“絹”FES IN 大さん橋」の様子（結城市・岡谷市・駒ヶ根市・富岡市が参加）

編集／発行 シルクのまちづくり市区町村協議会

発行年月 平成30年3月

**【この情報誌に関するお問い合わせ先】**

平成29年度 シルクのまちづくり市区町村協議会事務局

（群馬県富岡市世界遺産部富岡製糸場戦略課）

〒370-2316 群馬県富岡市富岡1-1

電話：0274-64-0005 FAX：0274-64-3181

メール：seishijou4@city.tomioka.lg.jp

ホームページ：https://silktown.jimdo.com/